

専門研修制度に関する和歌山県の 意見について (追加事項に関する考え方)

和歌山県福祉保健部健康局医務課

専門研修制度に係る和歌山県の意見

《協議内容》

令和元年8月2日に開催した第1回協議会で意見を伺った内容に加え、下記の内容を本県の意見として提出する予定ですので、ご意見をお願いします。

※本県からの意見の全容については、資料1「医師法第16条の8の規定に基づく専門研修に関する意見（案）」を参照願います。

※県内専門研修プログラムの内容については、参考資料1及び参考資料2を参照願います。

I 専門医制度全般に関する意見

専門研修募集定員のシーリングの算定において、人口が少ない県では、大学病院の医師数とその算定に大きく影響していることから、大学病院に所属する医師については、慎重に取り扱うよう、以下の意見を追加する。

1. 専門研修プログラム募集定員について（意見追加）

- シーリングの根拠となる診療科別の必要医師数の算定にあたっては、**医学の教育・研究を行う大学病院に所属する医師について一定配慮すること。【新規】**

大学病院には多数の医師が在籍しているが、それらの医師は臨床に加えて、教育・研究にも従事していることから、大学病院の医師については、臨床に従事する時間等に応じて算定の割合を変動させるなど、一定配慮すべきである。

専門研修制度に係る和歌山県の意見

Ⅱ 個別研修プログラムに関する意見

専門研修プログラムの内容について、以下のポイントから、地域の医療提供体制への影響を確認し、下記のとおり意見する。

- 県内に必要な専門医を早急に養成するという観点から、**県内で複数名以上の募集定員を確保できているか**
- 県内の医師確保対策としての観点から、**全ての研修期間を県内の医療機関で研修できるプログラムとなっているか**

① 和歌山県立医科大学形成外科専門研修プログラムについて、募集定員を1名から**2名に増員**すること【継続】

〔 早急に県内の形成外科医師を養成していくため、県内唯一の形成外科専門研修プログラムである当該プログラムの募集定員を増員すべきである。 〕

② 日赤和歌山医療センター外科専門研修プログラムについて、**県内に連携施設を設置**すること【新規】

③ 日赤和歌山医療センター放射線科専門研修プログラムについて、**県内に連携施設を設置**すること【新規】

〔 当該プログラムは、県内には連携施設がなく、県外に連携施設を有するだけのプログラムとなっていることから、県内の医師確保対策に資するプログラムとなるよう、県内にも連携施設を設定すべきである。 〕